

■メキシコ：イベルドローラ、メキシコでの投資を10年間で倍増

メキシコ経済紙は2015年5月7日、スペインのエネルギー大手イベルドローラのガラン社長はメキシコでの投資額がこの10年間で倍増すると述べたことを伝えた。同社は1999年にメキシコで事業を開始して以来、これまでに40～50億ドルを投資しており、ガスコンバインド500万kW、風力23万kW等の発電設備を所有・運転している。同氏は、投資を実施する上で、メキシコにおける電気事業分野の法的枠組みと厳格な規制が不可欠と指摘している。ガラン社長は長期的視点として、中南米地域は世界の再エネ開発を牽引する可能性があり、電力需要も今後25年間で4倍になることが期待されるとの見方を示している。